

令和4年度事業報告

I 概要

1 シルバー人材センター事業の概況

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症に世界情勢の不安定さも加わり、社会経済活動はもとより、シルバー人材センター事業（以下「シルバー事業」という。）も引き続き影響を受けたところである。

こうした中ではあるが、新型コロナウイルス感染防止や健康確保等に十分配慮しながら、地域社会の課題解決の担い手として存在感を発揮する観点から、「福祉・家事援助サービス事業」、「介護予防・日常生活支援総合事業」（以下「新総合事業」という。）、「空き家管理対策事業」、「放課後児童クラブにおける育児支援」を重点事業として推進するとともに、連合本部が実施主体となる労働者派遣事業（以下「シルバー派遣事業」という。）の運営においては、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」（以下「サポート事業」という。）の積極的な活用を通じて、次世代の生活、同世代の生活、人手不足に苦慮する企業等の下支えに貢献した。また、新型コロナウイルス感染症禍の状況に対応し、多くのシルバー人材センター（以下「センター」という。）において、引き続き、マスク製作、小中学校等の公共施設の消毒作業、買い物代行等に取り組むとともに、新型コロナウイルスワクチン接種会場での案内業務や接種予約の入力等により、地域住民が安心してワクチン接種を受けられるよう支援するなど、地域の課題解決にも積極的に取り組んだ。

また、会員の高齢化、重篤事故の発生状況を踏まえ、安全就業の徹底に向けた取組を強化した結果、重篤事故は大きく減少し、過去最低だった平成28年度の28件に次ぐ29件にまで減少したが、その一方で損害賠償保険に係る事故については増加の一途を辿り、保険財政は破綻寸前となった。

令和4年度は、コロナ禍の影響により、会員数が下げ止まらない状況にあることから、当面、コロナ禍の前の水準（令和元年度数値）の会員数に回復させることを目標として、センター、シルバー人材センター連合本部、全国シルバー人材センター事業協会（以下それぞれ「連合本部」、「全シ協」という。）が一丸となって会員増加に取り組んだところであるが、令和4年度の会員数は令和3年度より4,912人減の681,739人となった。

令和4年度の目標会員数を達成することはできなかったが、会員拡大に向けては、女性を最重点とした入会促進に取り組むとともに、高齢女性の活躍促進をテーマに、全国のシルバー事業関係者による全国女性シンポジウム（シルボンヌ全国大会2022 IN 愛知）（以下「シルボンヌ全国大会 IN 愛知」という。）を開催するなど、女性会員の拡大の推進に積極的に取り組んだところである。また、全シ協は、令和4年度下期の取組の参考として活用できるよう、「令和3年度会員拡大の取組と分析～一日も早くシルバー事業をコロナ前の水準に～」（以下「令和3年度会員拡大の取組と分析」という。）を作

成し、センター及び連合本部に提供した。さらに、デジタル社会の到来を念頭に置いて、シルバー事業においてもデジタル技術を取り入れた事業展開を推進することとした。

このほか、令和4年度においては、次の事項を重点としてセンター、連合本部がシルバー事業を展開することとし、全シ協はその支援、指導を行った。

(1) 女性会員の更なる拡大に向けた活動

高齢者人口の男女割合からみて拡大の余地が大きい女性会員の確保に重点的に取り組むため、センター及び連合本部において、女性限定入会説明会や女性向けイベントを開催したほか、女性会員拡大のための委員会や専門部会等を設置して新たな就業機会の確保に努めるなど、地域の実情に応じた女性会員の拡大に取り組んだ。また、女性人材の積極的な採用、育成及び登用を進め、女性にとってより魅力的なセンターとなるよう環境を整備した。

(2) 新しい生活様式に対応した就業機会の確保

新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、感染防止に十分配慮しながら、引き続き、マスク製作、小中学校等の公共施設の消毒作業、買い物代行等に取り組んだ。

また、地域住民が安心してワクチン接種を受けられるように、新型コロナウイルスワクチン接種会場での案内業務や接種予約の入力など、新しい生活様式に対応して必要となる業務の発掘に努め、新たな就業機会の確保を図った。

(3) デジタル技術の活用促進

デジタル社会の到来を踏まえ、シルバー事業においても、デジタル技術を活用した事業展開を図っていく必要がある。このため、スマートフォン教室やパソコン講座の開催、IT企業に対するシルバー派遣など仕事として積極的に取り入れるほか、スマートフォンを活用した業務連絡、Web入会システムの導入等デジタル技術を活用した業務の効率化を進めた。

また、こうした事業展開を図る上での基盤として、会員に対するスマホ講習の実施等により、会員のデジタルリテラシーの向上に努め、会員をはじめ地域の高齢者がデジタル化から取り残されない取組を推進した。

(4) 80歳を超えても活躍できる就業環境の創出

人生100年時代を迎え、元気なうちはいくつになっても働き続けることができる就業環境を整える必要があることから、独自事業などを活用して、80歳を超えても活躍できる就業環境の創出に努めた。

また、センターは、就業することが困難になった会員の居場所としての機能を果たすことも重要であることから、ボランティア活動やサークル活動等就業以外の分野でも長く活躍できる環境の整備に努めた。

(5) 多様な働き方の推進

高齢者の多様な就業ニーズに応じていくため、センターの基幹事業である請負就業に加えて、労働者派遣や職業紹介による働き方を推進した。

なお、それぞれの就業においては「臨時的かつ短期的な就業」又は「その他の軽易な業務に係る就業」を基本としつつ、労働者派遣事業及び職業紹介事業に取扱を限定した、高齢法第39条に基づく特例措置を活用した業務拡大を進めた。

(6) 「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」に沿った業務運営

「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」(以下「適正就業ガイドライン」という。)は、センター会員の働き方に係る重要な指針であり、公益法人として法令遵守の立場から、「受注リスト」等を点検し、不適正な請負契約における就業及び臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の範囲を著しく逸脱した就業の是正に向けて、センター及び連合本部と連携して取り組んだ。

(7) シルバー事業の更なる推進に向けた関係機関との連携

高齢者の多様なニーズに応じた多様な就業機会を提供するため、地方自治体をはじめ、ハローワーク等の関係機関及び社会福祉関係団体並びに各地域の商工会議所等の経済団体との連携を強化した。

(8) 地域社会との信頼関係の確立

センターが、地域社会の一員として存在意義を高めていくため、ボランティア等の社会活動のほか、地域の課題解決につながる活動を行うことができるよう、日ごろから地方自治体等と連携を強化し、地域貢献にも取り組んだ。

(9) 安全就業の推進と感染防止対策の徹底

「安全・安心なシルバー事業」の確立を図ることは、シルバー事業遂行の根幹をなすものであり、組織を挙げて安全対策のより一層の推進を図り、重篤事故など傷害事故の撲滅及び健康の確保を図った。

特に、「安全就業ニュース」や安全就業指導員会議などを活用し、事故事例等を「他人ごと」ではなく、「自らのこと」として認識するよう、安全意識の徹底とその高揚を図った。

併せて、発注者や第三者に危害・損害等を与えることとなる損害賠償事故が近年増大し、団体損害賠償保険が破綻寸前となったため、その撲滅を図るべく、注意を促した。

また、会員の新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図るとともに、コロナ禍における新しい生活様式の定着を促進した。

(10) 人手不足企業への派遣や協業の推進

小売業、サービス業等の人手不足企業への派遣や、高齢者の就業機会の創出・働き方改革の実現等に取り組む企業との協業について、積極的に取り組んだ。

(11) センター未設置地域の解消に向けた取組

センターが、未設置の市町村に居住する高齢者に対しても広く臨時的、短期的な就業機会を提供する必要があることから、センター未設置市町村に対して、地域の事情に応じて、センターの設置を働きかけた。

(12) SDGsの取組

人口減少、少子高齢化が進展している中で、だれもが、いくつになっても活躍できる社会の実現に向けて、地域の日常に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献しているセンターの様々な取組はSDGs（持続可能な開発目標）と深くつながるものであることから、センターの役割を十分に発揮することにより、持続可能な社会の実現を目指した取組を進めた。

主要実績を前年度と比較してみると、会員数は0.7%の減、契約金額は1.8%の増となった（表1）。

表1 シルバー事業の実績

区分	団体数		会員数（千人）			契約金額（億円）			
	増△減	対前年度比(%)	増△減	対前年度比(%)	増△減	対前年度比(%)			
令和4年度	1,340	1	100.1	682	△5	99.3	3,110	54.8	101.8
令和3年度	1,339	4	100.3	687	△12	98.3	3,055	18.3	100.6

2 全シ協会員の状況

令和4年3月末現在で、連合本部に加入し、全シ協に加入していないセンターが188団体あり、総団体数の14.0%を占めているため、全シ協は、連合本部と連携して新規設置センター及び既存の未加入センターの加入促進の働きかけを強め、併せてセンター未設置地域の解消に努めた。この結果、令和5年3月末現在における会員団体数は、正会員1,202団体、賛助会員588団体、合計1,790団体となった（表2）。

表2 会員の内訳

区 分	令和4年度末	令和3年度末	増△減
正会員	1,202	1,198	4
連合本部	47	47	0
国庫補助対象センター	1,103	1,099	4
国庫補助対象外センター	52	52	0
賛助会員	588	594	△6
都道府県	47	47	0
市区町村	529	535	△6
その他団体	12	12	0
合 計	1,790	1,792	△2

(注) 正会員・・・新規加入 4団体 退会 0団体
 賛助会員・・・新規加入 1団体 退会 7団体

II 事業実施結果

1 女性を重点とした会員拡大に関する指導・支援事業

会員及び就業機会の拡大を、センター及び連合本部における最重要課題とし、会員拡大については第2次100万人計画に基づく年間目標を定めて、PDCAサイクルにより会員拡大の目標管理を行うことについて必要な指導、助言を実施した。

(1) 女性会員の拡大の推進

高齢女性の活躍促進をテーマに、シルバー人材センター全国女性代表者会議（以下「全国女性代表者会議」という。）等と連携し、全国のシルバー事業関係者による「シルボヌ全国大会 IN 愛知」を開催し、女性会員の拡大を推進した。

(2) 女性活躍に向けた広報の展開

- ① 就業における活躍をホームページ等で発信
- ② マスコミ等への働きかけにより様々な活躍事例を紹介

(3) 好事例の収集と提供等

- ① 「令和3年度会員拡大の取組と分析」を作成し、全シ協会員専用ページ及び事務局長会議等において全国の連合本部・センターに提供した。
- ② 企業退職（予定）者層の入会促進のため、各地域の業界団体、中小企業団体等との連携を促進した。

2 関係機関との連携の推進

全国組織の経済団体、業種別団体等との連携の強化を通じて、会員拡大と新たな就業機会の確保に努めた。また、厚生労働省を通じて各都道府県の労働局、ハローワークとの連携の促進を図った。

3 安全就業推進事業

「安全・安心なシルバー事業」の確立を図ることは、シルバー事業遂行の根幹をなすものであり、重篤事故、傷害事故の撲滅や損害賠償事故の撲滅を図ることが肝要である。また、会員の健康は安全就業に大きく影響することから、健康管理、体力づくりが重要となるため、次の事業を行った。

- ① 安全就業ニュースの発行による事故撲滅、安全対策徹底の啓発
- ② 重篤事故、1 カ月以上 6 カ月未満の入院を要した事故（後遺障害の事故を含む）及び損害賠償事故の要因分析と再発防止のフォローアップ
- ③ 重篤事故等が発生した 2 センター及び 1 連合本部に対する特別指導の実施
- ④ 安全就業に係る取組事例等情報の収集、提供
- ⑤ 「シルバー世代の健康管理」などを活用した健康管理及び健康確保の推進
- ⑥ コロナ禍における新しい生活様式の定着及び会員の感染防止対策の徹底
- ⑦ センター及び連合本部の安全就業指導員会議の開催（オンライン併用）
- ⑧ 安全・適正就業推進強化月間（7 月）実施要領の作成と実施の呼びかけ
- ⑨ 安全就業優秀・優良センター及び優良シルバー連合の表彰
- ⑩ 各シルバー連合が規定した「安全な運転のために」に係る安全就業基準を確実に実施するためのフォローアップ
- ⑪ センター及び連合本部の実施する安全・適正就業推進大会、研修会、講習会及びパトロール等への情報提供等

4 指導事業

「令和 4 年度シルバー人材センター事業指導事業実施要綱、実施要領」（以下「指導要綱等」という。）に基づき、シルバー事業の適正かつ効果的な推進を図るため、以下の事業を実施した。

(1) 重点的に実施した指導等

ア 会員及び就業機会の拡大

会員拡大については、「第 2 次 100 万人計画」に基づき推進しているが、令和 4 年度においては、一日も早くコロナ前の水準に回復させることを最優先に取り組んだ。すべてのセンター及び連合本部が、前年度目標達成状況に応じた新たな目標数値を設定し、P D C A サイクルによる会員目標の管理を確実に実施するとともに、「令和 3 年度会員拡大の取組と分析」を作成し、会員及び就業機会の拡大に関する好事例等の情報提供を通じて年間目標達成のための指導、助言を行った。

また、シルバー人材センター事業のデジタル化の推進を図るため、先進的な取組

をしているセンターの事例を提供した。

- ・会員拡大・就業開拓担当者会議（オンラインによる）の開催（1回）
- ・シルバー事業情報交換会議（オンラインによる）の開催（1回）

イ 適正就業ガイドラインに沿った業務運営

会員の働き方に係る重要な指針である「適正就業ガイドライン」の遵守及び不適正な就業の根絶に向け、次の取組を行った。

- （ア）連合本部からセンターに対し受注リスト（受注実績一覧表）の提出を求め、法令違反等が疑われるものについては、就業実態等を把握の上、早期にシルバー派遣事業や職業紹介事業に切り替えること、及び「臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務」に係る就業の範囲を著しく逸脱した就業については早期に是正するよう指導、助言を行った。
- （イ）適正就業担当者会議（オンラインによる）の開催（1回）
- （ウ）連合本部定期指導の際、適正就業に対する取組状況を確認し、指導、助言を行った。

ウ シルバー派遣事業

国が設定したサポート事業に係る全国目標の達成に向けて、以下の指導、支援及び情報提供を行った。

- （ア）シルバー派遣事業の実施に関して生じた疑義に対する専門的・実践的な助言・援助を行った。
- （イ）サポート事業における計画目標値について、「PDCAサイクルによる目標管理」による事業実績の向上支援を行った（表3）。

表3 サポート事業 全国目標の達成状況

目標項目	目標値	令和4年度	達成率(%)
派遣就業延人員(人日)	9,513,940	8,762,283	92.1

- （ウ）サービス業等の人手不足分野や介護・育児等の現役世代を支える分野における就業機会の拡大のための派遣就業情報を提供した。
- （エ）事業実績のない実施事業所に対し、適正就業ガイドラインに沿った業務運営の観点から、早期にシルバー派遣事業への切り替えについて指導した。
- （オ）衛生委員会等の活動を支援するため、定期的に「シルバー派遣事業における労働災害発生状況」等の情報を提供した。
- （カ）同一労働同一賃金ルールに的確に対応するための取組や対応に関する情報提供及び支援を行った。
- （キ）シルバー連合が届出で行う労働者派遣事業に係る派遣元責任者講習を札幌、仙台、東京、大阪、福岡の5か所で計8回実施した（受講修了者970名）。

表4 シルバー派遣事業の実績

	令和4年度	令和3年度	対前年度比(%)
受注件数	57,342	53,636	106.9
契約金額(千円)	47,978,258	44,927,815	106.8
就業延人員(人日)	8,762,283	8,421,760	104.0

エ 職業紹介事業

有料職業紹介事業の適正な運営を確保するため、職業紹介責任者講習を宮城、東京、大阪、福岡の4か所で計4回(受講修了者409名(前年度比130.7%))開催し、その際には講習受講者の理解度を確認するため試験を実施し、また、事業実績のない実施事業所に対する支援を実施した。

オ 業務拡大への対応(高齢法第39条)

高齢法第39条に基づく業務拡大については、労働者派遣事業及び職業紹介事業に限定した適用であり、会員ニーズ及び発注者ニーズに沿って都道府県知事の指定を受けるべく適切な対応が図られるよう、指定状況及び事例紹介等の情報提供などの支援を行った。

また、業務拡大の措置に関連して雇用保険及び社会保険の適用については、法に基づいた適切な対応となるよう指導を行った。

なお、令和5年3月31日現在で、指定地域は39道府県・750市町村となった。

カ 福祉・家事援助サービス事業

(ア) 福祉・家事援助サービス事業実績を集約し事務局長会議等で提供した。

(イ) センター及び連合本部からの情報・事例の収集及び提供を行った。

表5 福祉・家事援助サービス事業の実績

事業別	年 度	実 施 団体数	実施率 (%)	受注件数 (件)	就業延人員 (人日)	契約金額 (千円)
福祉 サービス	令和3年度	794	59.3	60,635	1,091,091	3,510,833
	令和4年度	796	59.4	59,191	1,021,289	3,350,832
家事 サービス	令和3年度	893	66.7	91,957	1,145,982	3,015,077
	令和4年度	884	66.0	88,498	1,098,292	2,937,413
育児支援 サービス	令和3年度	464	34.7	12,773	378,458	1,456,396
	令和4年度	460	34.3	12,837	399,171	1,585,647
介護予防	令和3年度	393	29.4	30,416	439,574	834,810
	令和4年度	385	28.7	28,812	437,447	821,637
介護保険 事業	令和3年度	35	2.6	6,141	147,392	571,696
	令和4年度	33	2.5	7,856	152,103	610,552
合 計	令和3年度	1,037	77.4	201,922	3,202,497	9,388,811
	令和4年度	1,042	77.8	197,194	3,108,302	9,306,080
	対前年度比(%)	100.5	0.4ポイント	97.7	97.1	99.1

キ 新総合事業

新総合事業については、地域のニーズに応え、本事業の実績向上を目指すために、実績のないセンターにおける実績向上及び参入を希望しているセンターに対する事業受託に向けた支援を行った（表6）。

表6 新総合事業に関する取組状況

	令和4年度	令和3年度	対前年度比(%)
実施団体数	404	395	102.3
就業延人員(人日)	322,492	309,871	104.1
契約金額(千円)	685,160	616,112	111.2

ク シルバー人材センター介護プランナーの配置

本事業が円滑に運営され、就業機会の拡大に資するよう、情報収集を行うとともに連合事務局長会議等で制度周知と活用促進を図った。

新設された本事業が円滑に運営され、就業機会の拡大に資するよう、情報収集及び提供等によりセンターの取組を支援した。

ケ 空き家管理対策事業

空き家管理対策事業の実施状況を把握し、把握した情報及び取組内容をセンタ

一及び連合本部へ提供することにより、多くのセンターが実施団体となれるよう支援した（表7）。

表7 空き家管理対策事業に関する取組状況

	令和4年度	令和3年度	対前年度比(%)
実施団体数	706	654	108.0
就業延人員(人日)	121,587	121,369	100.2
契約金額(千円)	791,658	768,220	103.1

コ 放課後児童クラブにおける育児支援

放課後児童クラブの設置・整備の進展に伴い、支援員及び補助員等の担い手のニーズが一層高まることが期待されているため、多くのセンターが本事業に参入できるよう、好事例の紹介などを通じて取組支援を行った。（表8）。

表8 放課後児童クラブに関する取組状況

	令和4年度		令和3年度		対前年度比(%)	
	請負	派遣	請負	派遣	請負	派遣
実施団体数	82	193	87	172	94.3	112.2
就業延人員(人日)	211,211	231,085	204,547	135,777	103.3	170.2
契約金額(千円)	1,000,468	760,656	937,625	635,072	106.7	119.8

サ 消費税に係る適格請求書等保存方式への対応

令和5年10月からいわゆるインボイス制度（適格請求書等保存方式）が導入されることから、適切な対応を図れるよう、インボイス制度等の導入に伴う会計経理検討委員会報告書を確定し、センターの準備を支援した。

シ シルバー派遣事業における労働関係法令への対応強化

シルバー派遣事業の拡大に伴い、センター及び連合本部は労働関係法令に対する適切な対応が求められている。このため、全シ協において、労働関係法令に知悉した弁護士等による個別事案に係る相談、助言等を行う支援体制を構築した。

ス 会計処理体制（内部牽制体制等）の確立と会計処理の適正化

連合本部に対する定期指導において、会計事故の未然防止と会計処理の適正化を図るよう、センター及び連合本部に対して指導、助言を行った。

特に、経理責任者及び出納責任者の区分による内部牽制体制の明確化や経理責任者による月次決算の励行、理事長への報告及び未収金管理の適正化の徹底が図られ

ていない場合は、改善指導事項として改善を求めた。

(2) 連合本部に対する定期指導

定期指導対象連合本部（16 連合）に対して、指導要綱等に定めた重点事項に基づき、定期指導を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部オンラインによる指導実施となった（表 9）。

(3) 連合本部及びセンターに対する特別指導

シルバー事業を運営する上で重大な問題が生じた 1 連合、1 センターに対して、特別指導を実施した（表 9）。

また、会員拡大や就業機会の確保に課題を抱える 16 センターに対して、連合本部同席のもと、共同で課題解決策の検討や必要な支援等を行う趣旨で特別指導を実施した。

(4) 連合本部及びセンターに対するシルバー派遣事業及び職業紹介事業に係る特別指導

特別指導基準に該当する 6 連合本部に対して特別指導を実施した（表 10）。

なお、指導内容は、次の事項を含むものとした。

- ① 適正就業ガイドラインに沿った業務運営
- ② 業務拡大への対応（高齢法第 39 条）
- ③ 同一労働同一賃金への的確な対応

(5) 連合本部が行うセンターに対する指導

センターに対する指導は、連合本部が、全シ協作成の指導要綱等に基づく「シルバー人材センター指導マニュアル」に基づき、全シ協と連携協力して指導、援助を行った。

全シ協はこれらの指導の実効が上がるよう支援するとともに、連合本部の指導担当者（事務局長）から、センター指導の年間計画及び指導結果の提出を求め、定期指導等を利用して助言等を行った（表 11）。

(6) シルバー連合等からの相談状況

連合本部、センター、会員、及び発注者等からの質問・相談等に対応するため、相談体制を確立して、指導、助言を行った（表 12）。

表9 定期指導及び特別指導件数

ブロック	定期指導	特別指導		合計	うちオンライン
	連合本部	連合本部	センター		
北海道	0	0	0	0	0
東北	3	1	3	7	0
関東	3	0	3	6	0
北信越	2	0	2	4	0
東海	1	0	2	3	2
近畿	2	0	2	4	0
中国	2	0	2	4	0
四国	1	0	1	2	0
九州	2	0	2	4	2
計	16	1	17	34	4

表10 連合本部及びセンターに対するシルバー派遣事業及び職業紹介事業に係る特別指導件数

ブロック	連合本部	センター	合計
北海道	0	0	0
東北	1	1	2
関東	1	1	2
北信越	1	1	2
東海	0	0	0
近畿	1	1	2
中国	0	0	0
四国	1	1	2
九州	1	1	2
計	6	6	12

表11 連合本部によるセンターへの指導実施一覧

連合	連合加入 団体数	計画数 (団体数)	実施数 (団体数)	文書による改善指導を 実施した団体数
北海道	40	8	11	8
青森	24	7	7	7
岩手	31	9	11	10
宮城	34	9	9	9

秋 田	22	7	7	7
山 形	25	9	9	1
福 島	43	14	14	13
茨 城	42	12	12	12
栃 木	25	8	8	0
群 馬	31	8	8	0
埼 玉	59	20	20	19
千 葉	48	14	14	14
東 京	58	18	18	8
神奈川	32	11	11	0
新 潟	21	7	7	0
富 山	15	5	5	4
石 川	18	6	6	6
福 井	15	5	5	5
山 梨	9	3	3	3
長 野	21	7	7	5
岐 阜	41	14	14	14
静 岡	34	15	15	0
愛 知	54	18	18	18
三 重	27	10	10	0
滋 賀	19	7	7	0
京 都	21	6	6	0
大 阪	40	10	10	0
兵 庫	34	11	11	3
奈 良	30	10	10	1
和歌山	25	7	7	7
鳥 取	15	4	4	0
島 根	13	4	4	4
岡 山	20	6	6	0
広 島	21	7	7	7
山 口	14	5	5	3
徳 島	24	8	8	3
香 川	15	5	5	0
愛 媛	18	6	6	4
高 知	20	7	7	7
福 岡	42	15	15	0
佐 賀	19	6	6	6
長 崎	17	6	6	0
熊 本	42	16	16	7
大 分	14	4	4	3
宮 崎	21	7	7	0
鹿児島	37	12	12	6
沖 縄	18	5	5	0
計	1,308	418	423	224

表 12 シルバー連合等からの相談件数

区 分	件 数
① 連合本部	850
② センター	178
③ その他	268
計	1,296

5 研修事業

シルバー事業への期待が高まる中、役職員が役割を果たし、地域の方々から評価を得る取組が必要である。

このため、「令和4年度シルバー人材センター研修・業務会議指針」（以下「指針」という。）に基づき研修を実施するとともに、ブロック別シルバー人材センター連絡協議会（以下「ブロック協議会」という。）、連合本部等が開催した研修に対し支援を行った。

(1) 中央研修

センター及び連合本部の役職員に対して、シルバー事業の理念、組織運営及び業務運営等について専門的又は実践的な知識を付与するとともに、それぞれの役割に応じた指導・企画力等の向上を図ることを目的とし、次の研修を実施した。なお、新任事務局長研修のみ新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンラインを併用して実施した（表 13）。

- ① 新任理事長（会長）研修
 - ② 新任事務局長研修
 - ③ 新任連合事務局長研修
 - ④ 中堅職員研修
- 受講希望者多数のため、希望者全員を受け入れることはできなかったが、予定どおり開催

(2) ブロック協議会等が開催する研修への支援

指針に基づき研修を実施するブロック協議会及び連合本部等に対して、次の支援を行った（表 14 及び表 15）。

- ① ブロック協議会又は連合本部が開催する研修について、9 ブロック協議会 16 研修会及び 20 連合本部 23 研修会への講師派遣要請があったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点等から 1 ブロック研修及び 2 県 2 研修のみ中止もしくは取り下げとなったが、他の 8 ブロック 15 研修会及び 17 都府県 20 研修会へオンラインを含む講師の派遣を行った。
また、講師の情報提供を行った。
- ② ブロック協議会が開催する研修の充実のための援助を行った。

表 13 全シ協が主催した研修等

(単位：人)

研修等名称		開催年月日	開催場所	出席人数
理事長・事務局長及び職員研修	新任連合事務局長研修 ・連合本部	令和4年7月7日(木) ～8日(金)	全シ協会議室	8
	第1回新任事務局長研修 ・センター	令和4年8月30日(火) ～31日(水)	連合会館(東京)	48
	第2回新任事務局長研修 ・センター	令和4年9月13日(火) ～14日(水)	連合会館(東京)	39
	上記新任事務局長研修(講義のみ)	配信：令和4年10月20日(木) ～11月2日(水)	オンライン	207
	第1回新任理事長(会長)研修	令和4年10月4日(火)	連合会館(東京)	46
	第2回新任理事長(会長)研修	令和4年11月10日(木)	連合会館(東京)	48
	中堅職員研修	令和5年2月8日(水) ～9日(木)	連合会館(東京)	73
連合・センター職員業務会議	会員拡大・就業開拓担当者会議	配信：令和4年8月15日(金) ～28日(火)	オンラインによる	1,743
	適正就業担当者会議	配信：令和4年10月17日(月) ～30日(水)	オンラインによる	1,968
	安全就業指導員会議※	令和5年1月13日(金) 配信：令和5年1月30日(月) ～2月17日(金)	連合会館(東京) オンライン併用	29 (1,914)
	シルバー事業情報交換会議	配信：令和5年3月3日(金) ～24日(金)	オンラインによる	1,790
小 計			会場参加	291
			オンライン参加	7,622
派遣元責任者講習		令和4年7月12日(火)	仙台サンプラザ(宮城)	138
		令和4年7月21日(木)	連合会館(東京)	137
		令和4年8月4日(木)	連合会館(東京)	101
		令和4年9月27日(火)	ホテルマイステイズ新大阪 コンファレンスセンター(大阪)	204
		令和4年10月27日(木)	TKP札幌ビジネスセンター 赤レンガ前	66
		令和4年12月2日(金)	福岡県中小企業振興センター (福岡)	187
		令和5年2月10日(金)	連合会館(東京)	80
		令和5年2月22日(水)	連合会館(東京)	57
小 計				970
職業紹介責任者講習		令和4年9月6日(火)	ホテル白萩(宮城)	79
		令和4年10月14日(金)	福岡県中小企業振興センター (福岡)	87
		令和4年12月16日(金)	ホテルマイステイズ新大阪 コンファレンスセンター(大阪)	130
		令和5年1月12日(木)	連合会館(東京)	113
小 計				409
合 計 (延23回)			会場参加	1,670
			オンライン参加	7,622
			計	9,292

※安全就業指導員会議における()はオンラインによる参加者数

表 14 全シ協が講師を派遣したブロック協議会研修会

(単位：人)

開催 ブロック	研修会名	開催年月日	開催場所	研修・講義内容	参加 人数	派遣 講師名
北海道	役員研修会	令和4年9月1日(木)	ポールスター札幌(札幌市)	シルバー人材センターの発展に向けた役員の役割～会員拡大の取組みと安全就業の徹底～	74	専務理事 姉崎 猛
東北	理事長(会長) ・事務局長 合同研修会	令和4年9月30日(金)	オンライン	令和時代のシルバー人材センター事業～会員拡大、安全就業、SDGsの実践～	267	専務理事 姉崎 猛
	職員研修会	令和4年11月15日(火)	ホテルメトロポリタン山形(山形市)	インボイス制度導入後のシルバー事業の方向性等について	86	業務部長 石原 亘
関東	役職員研修会	令和5年2月16日(木)	群馬県社会福祉総合センター(前橋市)	人生100年時代のシルバー人材センター事業～会員拡大、安全就業、SDGsの実践～	90	専務理事 姉崎 猛
東海	役職員研修会	令和4年11月17日(木)	オンライン	シルバー人材センター事業の現状と課題～実施が迫るインボイス制度への具体的な対応～	188	業務部長 石原 亘
	職員研修会	令和4年12月9日(金)	ウインクあいち(名古屋市)	シルバー事業における安全就業について	49	事務局長 藤井礼一
近畿	役員研修会	令和4年6月21日(火)	ホテルグランドイア和歌山(和歌山市)	これからのシルバー人材センター事業	89	業務部長 石原 亘
	職員研修会	令和4年9月21日(水) ～9月22日(木)	ホテル日航奈良(奈良市)	シルバー人材センターの望むべき姿	128	事務局長 藤井礼一
中国	役職員研修会	令和4年10月31日(月) ～11月1日(火)	岡山コンベンションセンター(岡山市)	令和時代のシルバー人材センター事業～会員拡大、安全就業、SDGsの実践～	230	専務理事 姉崎 猛
四国	役職員研修会	令和4年7月15日(金)	オンライン	地域の期待に応えるために	130	事務局長 藤井礼一
	担当者研修会	令和4年11月18日(金)	オンライン	個人情報保護法とシルバー人材センターにおける個人情報の保護について	94	指導第二課長 木村賢治
九州	定時総会・ 役職員研修会	令和4年7月14日(木) ～15日(金)	ニューウェルシティ宮崎(宮崎市)	令和時代のシルバー人材センター事業～会員拡大の取組み、安全就業の徹底～	84	専務理事 姉崎 猛
	職員研修会	令和4年10月13日(木) ～14日(金)	グランデはがくれ(佐賀市)	会員拡大の必要性和新たな事業展開	134	事務局長 藤井礼一
	九州各県連合(会)会長会議	令和4年11月11日(金)	福岡県中小企業振興センター(福岡市)	シルバー人材センターの当面の課題と対応	6	会長 金子順一
	センター中堅職員研修会	令和5年2月27日(月)	KKRホテル熊本(熊本市)	新たな契約方法(包括的契約)について	170	業務部長 石原 亘
合 計 (15回)			会場参加		1,140	
			オンライン参加		679	
			計		1,819	

表 15 全シ協が講師を派遣した連合本部研修会

(単位:人)

開催連合	研修会名	開催年月日	開催場所	研修内容	出席人数	派遣講師名
青森県連合会	適正就業推進研修会	令和4年9月16日(金)	ウェディングプラザアラスカ(青森市)	適正就業ガイドラインに沿った業務運営の推進について	32	指導第一課長 小泉 享
山形県連合会	理事長・役員(理事・監事)合同研修会	令和4年8月23日(火)	山形テルサ(山形市)	シルバー人材センターの課題～会員の増強と組織の活性化等について～	90	副会長 谷口秀樹
福島県連合会	理事長等役員・事務局長交流研修会	令和4年10月17日(月)	オンライン	インボイス制度～管理者に必要な知識と対策～	(118)	業務部長 石原 亘
茨城県連合会	理事長会議	令和4年12月1日(木)	ホテルレイクビュー水戸(水戸市)	令和時代のシルバー人材センター事業～会員拡大、安全就業、SDGsの実践～	54	専務理事 姉崎 猛
東京都連合会	会長会議	令和4年7月4日(月)	東京しごとセンター(千代田区)	東京都シルバーへの期待～会員拡大の取組みを中心として～	47	専務理事 姉崎 猛
神奈川県連合会	役員等交流研修会	令和5年1月26日(木)	かながわ労働プラザ(横浜市)	シルバー人材センターをめぐる諸課題と今後の方向性	27	会長 金子順一
新潟県連合会	インボイス制度研修会	令和4年9月16日(金)	新潟ユニゾンプラザ(新潟市)	インボイス制度への対応について	28 (45)	業務部長 石原 亘
富山県連合会	役員研修会	令和4年11月22日(火)	ボルファートとやま(富山市)	令和時代のシルバー人材センター事業～会員拡大、安全就業、SDGsの実践～	51	専務理事 姉崎 猛
	安全・適正就業対策推進研修会	令和5年3月16日(木)	ボルファートとやま(富山市)	シルバー人材センターにおける適正就業	42	指導第一課長 小泉 享
長野県連合会	正・副理事長研修会	令和4年12月6日(火)	オンライン	これからのセンター運営と役員の役割について～会員拡大、安全就業、SDGsの実践～	(56)	専務理事 姉崎 猛
岐阜県連合会	理事長・会長会議	令和4年11月21日(月)	グランヴェール岐山(岐阜市)	シルバー人材センター当面の課題と対応	34	会長 金子順一
	職員研修会	令和5年2月17日(金)	ワークプラザ岐阜(岐阜市)	シルバー人材センターの職員として	32	研修・支援課 課長補佐 高木明男
三重県連合会	理事長座談会及び研修会	令和4年11月29日(火)	三重県総合文化センター(津市)	シルバー人材センター事業を取り巻く現状と課題について	16 (22)	事務局長 藤井礼一
滋賀県連合会	役職員調査研究会	令和4年6月15日(水)	クサツエクストピアホテル(草津市)	滋賀県シルバーへの期待～会員拡大の取組みと安全就業の徹底～	40	専務理事 姉崎 猛
京都府連合会	理事長・事務局長研修会	令和4年6月14日(火)	京都テルサ(京都市)	京都府シルバーへの期待～会員拡大の取組みと安全就業の徹底～	45	専務理事 姉崎 猛
	派遣事業研修会	令和5年3月1日(水)	京都府立総合社会福祉会館	派遣事業における実務研修	35	指導第二課長

			(京都市)			木村賢治
奈良県協議会	派遣実務担当者研修会	令和4年8月24日(水)	奈良県産業会館(大和高田市)	シルバー派遣実務担当者研修～相談・指導等の事例から学ぶ～	19	指導第二課長 木村賢治
山口県連合会	役職員研修会	令和4年9月27日(火)	県土連ビル(山口市)	センター発展に向けた役員の役割について～会員拡大の取組みと安全就業の徹底～	50	専務理事 姉崎 猛
福岡県連合会	理事長研修会	令和4年11月2日(水)	JR博多シティ(福岡市)	シルバーセンターの今後の課題について～インボイス制度対応、新規補助事業の取組～	40	事務局長 藤井礼一
宮崎県連合会	理事長・事務局長合同研修会	令和4年10月21日(金)	宮崎市中央公民館(宮崎市)	シルバー人材センターの現状と課題～インボイス制度への対応等について～	28	事務局長 藤井礼一
合 計 (20回)				会場参加	710	
				オンライン参加	241	
				計	951	

() はオンラインによる参加者数

(3) 労働安全衛生研修への支援

シルバー事業における労働安全衛生に関する専門的研修を実施する連合本部に対し、①要請に応じて講師派遣や講師の情報提供、②研修充実のための援助を行う予定であったが、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各連合本部とも研修を行う状況になかったため、研修に係る情報収集のみ行った。

(4) その他研修への支援

全国女性代表者会議の設置要綱により実施する研修に対して、要請に応じて講師派遣等の支援を行った。

開催年月日 令和4年11月24日(木)
 研修内容 女性会員に期待すること―必要とされる存在として―
 出席人数 50名
 派遣講師 事務局長 藤井 礼一

6 情報の収集・提供等

高齢者の多様な形態による就業機会の拡大・生きがいの創出や地域社会の活性化への様々なアプローチが図られるよう、シルバー事業関係情報の収集・提供等を行った。

(1) 統計情報・調査の整備・提供

- ① 定例統計情報の取りまとめ及び提供
- ② 請負・委任及びシルバー派遣事業の実績の総合的な把握
- ③ シルバー派遣事業における事故状況(労災事故)の把握

- ④ 高齢法第 39 条に基づく業務拡大に係る都道府県知事の指定の状況とマッチング実績の把握
- ⑤ 「シルバー人材センター事業統計（年報・月次報）」の作成、提供
- ⑥ 厚生労働省の依頼によるシルバー事業に係る調査及び取りまとめ
- ⑦ 年齢階級別粗入会率の提供

(2) 全シ協ホームページの整備・充実

全シ協及びセンターの事業を広く周知、普及啓発するために、全シ協ホームページによる様々な情報提供を行うとともに、安全性及びアクセシビリティの向上を図った。

(3) 全シ協会員専用ページ等による情報提供

全シ協会員専用ページ等を活用し、センター及び連合本部等に対し、次の情報提供を行うとともに、ページのリニューアルを行い、動画サイト等の追加等、拡充を図った。

- ① シルバー事業に関連する施策や報告書などの所在情報
- ② 就業機会・会員拡大に資する好事例等各種情報
- ③ シルバー事業に関する活動状況等の情報
- ④ 通達及び各種会議・研修資料
- ⑤ 統計データを活用した、事業実績（会員数、契約金額、就業延人員、受注件数、入会・退会者数、入会理由・退会理由）をビジュアルに表現する「統計分析機能」

(4) 全シ協システムの再構築に向けた検討

機能を拡充した全シ協システムの再構築に向けた検討を行い、要件定義、プロトタイプ開発を行った。

7 普及啓発事業

センター及び連合本部の行う普及啓発活動を支援するとともに、マスメディア（報道機関、新聞社、出版社等）の取材等を積極的に受けるなど、事業の普及啓発に努めた。

(1) 普及啓発促進月間の設定

10 月を「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」、10 月の第三土曜日を「シルバーの日」と設定して、センター及び連合本部による集中的な広報活動を促すとともに、全国のコミュニティーFMラジオ放送においてシルバー事業のスポットCMを流すなどの広報活動を展開した。

(2) センター等に対する会員拡大のための環境整備

高齢女性の活躍促進をテーマに、全国のシルバー事業関係者による「シルボンヌ全国大会 IN 愛知」を開催し、女性会員の拡大を推進するための環境整備に努めた。

(3) 80歳を超えても活躍できる取組の推進

高齢の会員の就業に関して、会員専用ページやニュースレター等を活用して、高齢会員の就業事例を紹介して、いくつになっても元気で働ける取組を推進した。

(4) 介護予防効果に関する調査研究の実施

センターにおける就業等が、健康の維持、介護費用の抑制に貢献していることを明らかにすることを目的とする調査研究の第1回アンケート調査を実施した。

(5) 「月刊シルバー人材センター」を活用した普及啓発活動の推進

掲載内容の一層の充実を図るため、企画編集に積極的に協力するとともに、シルバー事業の普及啓発活動の展開に有効活用を図った。

また、効果的な普及啓発活動の手段の一つとして購読の促進を図るとともに、未購読センターに対する働きかけを行った。

(6) 広報コンテンツ等の作成及び活用促進

シルバー事業に対する理解を促進するとともに、センターが地域住民に愛され、親しまれるよう、広報コンテンツ等を作成し、マスメディア及び全シ協ホームページ等で活用を図った。

- ① 事業概要の作成
- ② 事業説明用パンフレットの作成
「超高齢社会にチャレンジ」など
- ③ 仕事紹介動画の作成
- ④ 女性活躍促進に向けたシンボルマーク等の活用
(シンボルマーク、ロゴ、イメージアップポスター、女性会員活躍事例)
- ⑤ マスコットキャラクター「チエブクロー」の活用
- ⑥ 女性活躍促進に向けたシルボンヌ徽章の着用によるPR活動

(7) センター及び連合本部の広報活動の支援

センター及び連合本部の実施するマスコミ公表、ホームページの活用及びリーフレットの作成、配布等の広報活動に対して、広報コンテンツやノウハウ等の提供等によって支援を行った。

また、「高齢者活躍人材確保育成事業」の実施規模が縮小されたことに伴い、全シ協としてもセンター及び連合本部の広報活動に対して積極的な支援を行った。

- ① 会員拡大、特に女性会員拡大に関する全国の好事例等を紹介するパンフレット等の作成

- ② ニュースレターを発行し、全国のセンター及び連合本部へ発信するとともに、配信を希望する賛助会員等に対しても発信
- ③ 効果的な広報戦略、SNSを活用した有効な情報発信など、広報に関するスキル向上に向けた特集を「月刊シルバー人材センター」に掲載した。

(8) 頒布事業の推進

シルバー事業の普及啓発の促進と安全・適正な事業運営を確保するため、次の頒布物の作成・販売を行った。

- ① シルバー事業の運営に役立つ各種書籍
- ② 会員手帳
- ③ 「チェブクロー」オリジナルグッズ
- ④ シルボンスグッズ

(9) マスメディア等の取材等を通じた普及啓発活動

マスメディア等からの取材など（マスメディア等 17 件、企業等 3 件）に積極的に対応し、シルバー事業の普及啓発に努めた。また、海外からの派遣団等の受入れ等も行った（3 か国）。

8 シルバー事業におけるデジタル活用の推進等

コロナ禍において、デジタル社会への変革が急速に進行していることから、シルバー事業においても、デジタル技術を取り入れた事業展開を図る必要がある。このため、センターにおいて、例えば、①スマホ教室、パソコン講座、IT企業へのシルバー派遣等デジタル関連の就業機会の確保、②スマホを活用した業務連絡、Web 入会システムの導入等業務の効率化、③スマホ講習の実施による会員のデジタルリテラシーの向上等が推進されるよう、先駆的な取組を支援した。特に、総務省が令和 3 年度から令和 7 年度にかけて実施する「デジタル活用支援推進事業」については、センターが受託した場合、就業機会の拡大はもちろん、デジタル人材の育成、会員が受講することでスマホ操作に精通等様々な効果が期待できるため、多くのセンターが受託できるよう支援を行った。

9 理事会機能及び執行体制の強化

全シ協の理事会機能及び執行体制を強化するため、理事会で女性理事を増やすことについて議論をし、役員定数の改正を行い、女性理事の登用を図った。

10 諸会議の開催

全シ協の運営及びシルバー事業の運営に関して必要な会議を、次のとおり開催した（表 16）。

表 16

(1) 定款に定める会議

会議名	開催年月日	開催場所等
定時総会	令和4年6月23日	中野サンプラザ
理事会	令和4年5月17日	オンラインによる開催
	令和4年9月15日	オンラインによる開催
	令和5年2月2日	中野サンプラザ
	令和5年3月9日	日本教育会館
理事会部会 ・企画情報部会 ・組織財政部会 ・事業部会	令和5年2月2日	中野サンプラザ

※ 第2回理事会は中止

(2) その他の会議

会議名	開催年月日	開催場所
都道府県シルバー連合 会長（理事長）会議	令和4年4月25日	コングレスクエア日本橋
都道府県シルバー連合 事務局長会議	令和4年5月27日	オンラインによる開催
	令和4年10月6日	オンラインによる開催
	令和5年1月19日	日本教育会館

11 その他の事業等

(1) 長期就任都道府県連合及びセンター会長（理事長）、優良都道府県連合及びセンターの表彰

「表彰規程」に基づき決定した、シルバー人材センター事業の発展に寄与し、功労のあった個人又は団体及び会員拡大に特に顕著な功績があった都道府県連合に対し、表彰を行った。

(2) 連合本部及びブロック協議会並びに全国女性代表者会議に対する支援

連合本部及びブロック協議会並びに全国女性代表者会議において、経験の交流や課題の解決に向けて共同した取組を進めるなど、シルバー事業の発展を図るため、その事業運営に要する経費の一部について支援した。

(3) 職員・会員に対する福利厚生事業

職員に対する企業年金基金その他の福利厚生事業の普及促進を図るとともに、全シ協

のホームページや「月刊シルバー人材センター」を活用して、職員・会員の健康の維持・増進や相互交流を推進した。

Ⅲ 各方面への要望活動の展開

1 国、都道府県及び市区町村等への要望活動

シルバー事業の円滑な推進のためには、必要な予算（補助金、委託費）の確保と公共事業の発注の確保が重要であるが、シルバー事業は、請負により働くことを基本としていることから、とりわけ一般会計の人件費・管理費の削減は、事業運営に大きな支障となるため、これが削減されないようにすること、また、令和5年10月に導入予定の「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」について、シルバー事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となるようにすることについて、6月開催の定時総会において「地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望」を決議し、全シ協、連合本部、センターが、それぞれ国、都道府県、市区町村等に対して要望活動を行った。

特に、インボイス制度の特例的な取扱いに関しては、全国209の地方議会において、意見書が決議された。

2 自由民主党シルバー人材センター活性化議員連盟への要望活動

令和4年4月26日に開催された、自由民主党シルバー人材センター活性化議員連盟の総会に出席し、要望や意見交換を行った。

特に、インボイス制度（適格請求書等保存方式）が導入されると、シルバー人材センターの運営に極めて大きな影響を及ぼすことから、当総会において、インボイス制度の特例的な取扱いや次年度以降の予算確保等安定的な事業運営が可能となる措置について要望を行うとともに、議連所属議員ほか関係議員等を訪問し、問題点の説明及びセンターに対する税制上の特例的な取扱いについて要請を行った。

令和 4 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。

令和 5 年 6 月

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会